

西おきたま米づくり情報 No.2

令和2年 4月 2日
米づくりプロジェクト
西置賜農業技術普及課

「初期生育の確保」に向け、「健苗育成」と「土づくり」で米づくりスタート！

◎播種

○田植えの計画に合わせて播種日を決めましょう。

○移植適期は **5月15～20日** です。

田植えの遅れは初期生育の遅れの要因に、老化苗は活着不良の要因になります。

田植え日から逆算して
計画的に！

☆作業時期の目安【田植えを5月20日にする場合】

苗の種類	乾籾重 (g/箱)	水漬開始日	催芽日	播種日	育苗期間	田植日
稚苗	150～180g	4月12日	4月24日	4月25日	25日	5月20日
中苗	80～120g	4月2日	4月14日	4月15日	35日	

◎育苗期間の温度・水管理

○ハウス内および苗床（被覆資材下）の両方に温度計を設置し、温度確認をこまめに行いましょう。

苗床も

温度を確認！

育苗箱



【低温対策】

・保温性の高い資材で温度を確保する。低温時、遮光性の高い資材は苗床の地温が上がらず、出芽に時間を要する場合がある。

【高温対策】 ～ハウス内の気温が40℃を超えるとわずか30分でヤケることがあります～

・晴天時は高温障害が発生しやすいので特に注意が必要です。

温度が上がる前に早めにハウスを開放する、遮光資材を使う等の対策を取りましょう。

・保温マットを使用した場合、気温が高い日は苗床の温度が急激に上昇することがあるため、早めに換気、保温マットを除去する等の対策が必要です。

【育苗期間の温度管理】

	昼間	夜間	注意点
出芽時	30～32℃		○無加温出芽は出芽を揃えることがカギ。きめこまやかな管理を行う。
緑化期 (出芽後2～3日)	25℃	15℃	○外気温が25℃以上の日は苗ヤケに要注意！早めにハウスを開ける。
緑化期以降	20～25℃	8℃以上	○低温時には保温に努める。 ○霜が予想される場合は早めにハウスを閉める。

○かん水は午前中に1回が基本です。夕方からのかん水は根張り不良となるため避けましょう。

○**プール育苗**では1.5葉期から**ハウスを開放し、入水**します（床土の高さ）。2葉期以降は常時湛水し、箱上1cm程度の水深とします。プール育苗は**苗が伸びやすくなるため、ハウスは夜間も開放し、低めの温度管理**を行う。ただし、**降霜予想時はハウスを閉める**。

◎育苗期間中の病害対策

○出芽を揃え、温度管理やかん水を適切に行い、病害を発生させない環境づくりが大切です。
カビが発生したり、苗の生育異常がみられたりした場合には早めにご相談ください。

【育苗期間中に発生する病害と対策】

病原菌	主な症状	発生条件	発生抑制のポイント
フザリウム	白色～淡紅色のカビ	緑化期の 低温、湿度の 変動が大きい 時	○低温をさけ、適切な温度 を保つ ○過湿にしない
ピシウム	カビは見えない。 出芽後の芽、根の枯死、ムレ苗		
リゾプス	種子、芽の周辺に白いカビ、 根の褐変、葉の黄化	出芽時の 高温多湿	○33℃以上の高温、多湿に しない
苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	第2葉の葉身基部が黄白化、 枯死、坪枯れ	高温、多湿	○高温、多湿にしない ○発生した場合は苗を処分

◎土づくり肥料を積極投入

○天候不順な中、安定的に米の品質・収量を確保するためには、「土づくり」は必須技術です。
特に、**ケイ酸資材**は①**根の活力維持**、②**登熟能力の向上**、③**いもち病抵抗性向上**の効果が期待できます。土壌pHの改善にも有効です。積極的に施用しましょう。

【施用の目安】ケイカル 120 kg/10a

- 耕起後5日以上無降雨が続き、作土層が乾燥することにより、乾土効果（窒素栄養）を得ることができます。さらに、稲わらの分解も促進され、ワキ（土壌還元）の発生が抑えられます。早めの耕起で初期生育確保に繋げましょう。
- 土壌からの養分の供給力増加や、登熟不良・品質低下軽減のため、**耕土深 15cm** を目標に耕起を行いましょう。

◎品種に応じた基肥量の目安

○基肥は下表を目安にし、良食味米の生産に努めましょう。

表 品種別の基肥量（窒素量）の目安

品種名	はえぬき	つや姫	雪若丸	コシヒカリ	ひとめぼれ	あきたこまち
窒素成分量 (kg/10a)	5～6	3～4	4～5	3～4	4～5	5～6

◎堆肥の過剰施用は食味にマイナス

○堆肥は、家畜の種類や原料により成分が異なるので、特徴を把握して施用しましょう。
堆肥を施用した場合には、必ず基肥を減肥しましょう。

STOP 農作業事故！

～声をかけあい 助け合い 農作業事故ゼロへ～

春作業はトラクター等の機械作業が多くなります。作業前には、機械の点検、危険箇所
のチェック等を行い、農作業事故ゼロを達成しましょう。